

令和4年度シラバス

教科	科目	単位数	履修学年・クラス
外国語	英語コミュニケーションⅠ（習熟）	2	1-2～1-6

1. 学習の到達目標

- ・英文法の基本事項（中学英語）の確認と徹底を図った上で、高校英語を充実させる。
- ・習熟度編成の主旨が生きるように、それぞれのクラスで創意工夫した授業をする。
- ・辞書の使い方を学ぶ。
- ・授業を通して、人権問題等を考える機会を持つ。

2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	2. be 動詞	*be 動詞の復習をし、知識を定着させる
	3. 一般動詞の現在形	*一般動詞の現在形の復習をし、知識を定着させる
	4. 動詞の過去形	*動詞の過去形を覚え、知識を定着させる
	9. 進行形	*進行形の形を覚え、英作文できる
2 学 期	10. 未来表現	*未来表現の形を覚え、英作文できる
	11. 疑問詞(1)	*様々な疑問詞を覚え、疑問文を作ることができる
	12. 疑問詞(2)	*様々な意味の助動詞を覚え、使うことができる
	13. 助動詞	*不定詞の3つの用法を覚え、英作文できる
	14. 不定詞(1)	
3 学 期	15. 不定詞(2)	
	17. 動名詞	*動名詞の用法を覚え、英作文できる
	19. 比較	*原級、比較級、最上級の形とそれを使った比較表現を覚える
	23. 受け身	*受け身の用法を覚え、英作文できる

3. 評価方法・評価の観点

評価方法	定期考査、小テスト、提出物、授業態度などによる総合評価
------	-----------------------------

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。	日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手。話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	Reach for the Big Dipper - 英語の基礎定着ノート - (数研出版)
副教材	英和辞書 The New Victory Anchor (学研)、辞書は友達 (学研) ESSENTIAL WORDS① (中部日本教育文化会)